科目名	日本史特講Ⅰ		担当教員	秋山 晶則	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED3SJH403
期待される学修成果	教科教育 自己形成				
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	教諭（講師含む）				
実務経験を生かした授業内容	学校現場の経験を活かし、記録史料をベースとした教材研究を軸に講義する。				
到達目標及びテーマ	歴史を深く理解するため、方法上の工夫について認識することができる。また、根拠となる、基本的な史資料の読解とともに、史料批判の方法を理解できる。				
授業の概要	織豊期～近現代の記録史料（アーカイブズ）のうち、活字化されたものを中心に、時代背景を探りつつ、基本的な史料を読み進めていく。また、史料批判のあり方をめぐって、教材研究をイメージしながら、地域に残された自然災害史料を軸に検討を行う予定。				

授業計画	
第1回	史料学と史料批判
第2回	織豊政権
第3回	幕藩制の成立と構造
第4回	都市と村落
第5回	幕府と朝廷
第6回	さまざまな身分
第7回	内憂外患と民衆思想
第8回	幕末動乱と維新変革
第9回	近代国民国家形成
第10回	植民地帝国日本
第11回	アジア太平洋戦争
第12回	災害史料と地域教材
第13回	地域の記憶と歴史意識
第14回	地域教材の課題と展望
第15回	総括（1～14回の内容について）

事前学修	2時間	史料の読みになれるため、授業ではアトランダムに指名する。配布資料を読み、事前に用語や関連資料を調べるなど、必ず予習をしておくこと
事後学修	2時間	資料等をもとに講義をふりかえり、論点を整理・復習する。
フィードバックの方法	小レポートの評価に基づき、ピックアップコメントを付すとともに総合評価を説明する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	70%	歴史史料の読解力とともに、史料的根拠に基づいた地域教材の構想力を試す問題を課し、総合評価する。
上記以外の試験・平常点評価	30%	毎回、授業内容に関する小レポートを課し、理解度に応じて評価する。
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
使用しない。	—	—	—	—
参考資料	歴史学研究会編『日本史史料』全5巻（岩波書店、1996年：ISBN9784002031248）、佐藤進一『新版 古文学入門』（法政大学出版会、2003年：ISBN9784588320118）、東京大学教養学部歴史部会編『史料学入門』（岩波書店、2006年：ISBN9784000280433）ほか、講義のなかで適宜紹介する。			

科目名	日本史特講 II		担当教員	北村 安裕	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED4SJH404
期待される学修成果	教科教育 自己形成				
アクティブラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	本講義では、美濃・飛騨地域の古代の歴史について扱う。基礎的な歴史研究の方法を学ぶとともに、古代の社会との共通点・相違点の双方に目を向けながら、現代社会に対する理解も深めてほしい。				
授業の概要	古墳時代から平安時代にかけての美濃・飛騨地域に関わるいくつかのトピックをとりあげ、中央の歴史との関連に留意しながら、そこから浮かび上がる地域社会の様相について講義する。具体的には、同地域の古墳、壬申の乱における美濃地域の役割、御野国戸籍、東山道などを素材としてとりあげる。				

授業計画	
第1回	古代史の多様な史料
第2回	古代史の方法
第3回	古墳時代の美濃・飛騨 1 ー巨大古墳の分布と地域勢力ー
第4回	古墳時代の美濃・飛騨 2 ー文献史料からみたー
第5回	壬申の乱と美濃 1 ー戦闘の経過ー
第6回	壬申の乱と美濃 2 ー湯沐の機能と分布ー
第7回	壬申の乱と美濃 3 ー舎人の活躍と出自ー
第8回	御野国戸籍を読む 1 ー御野国戸籍とは何かー
第9回	御野国戸籍を読む 2 ー律令体制と御野国戸籍ー
第10回	御野国戸籍を読む 3 ー正倉院文書と国家仏教ー
第11回	御野国戸籍を読む 4 ー戸籍にみえる地域と氏族ー
第12回	東山道と美濃・飛騨 1 ー古代交通と東山道ー
第13回	東山道と美濃・飛騨 2 ーキノヅの開削と地方行政ー
第14回	東山道と美濃・飛騨 3 ー神坂をめぐる物語ー
第15回	まとめ

事前学修	2時間	講義内で指示する事項について調べてくること。
事後学修	2時間	講義内で提示した課題に取り組むこと。
フィードバックの方法	講義内での課題・小テストの結果等を用いて講義を展開する。また、質問は随時受け付ける。	

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
レポート	30%	4000字程度のレポート
上記以外の試験・平常点評価	70%	まとめ課題等
定期試験	0%	
補足事項		

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
参考資料				